

スマートダストボックス 取り扱い説明書

このたびは、本製品をお求めいただきまして、ありがとうございます。この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、説明書は大切に保管し必要な時お読みください。

WA69

はじめに

安全にご使用いただくために

- 本製品をご使用いただく際は、走行前に予め本体がしっかりと安定している所を設置できているかをご確認の上、お使い願います。
- 以下の警告・注意をお読みの上、正しくご使用ください。警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任、保証は負いかねます。

1 安全上の注意

警告 この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

【製品について】

警告

- 走行中の運転者による本製品のご使用は大変危険です。おやめください。
- 本製品の設置が困難な場合または、本製品を設置すると運転の妨げになる場合はご使用をおやめください。
- 本製品の分解、改造などは絶対にしないでください。本製品の故障、破損の原因になります。
- 火気(ライター等)の危険物は捨てないでください。
- 本製品が高熱になった場合や発煙、ショートした場合には、ただちに使用をやめてください。
- 本製品にたたきつけるような強いショックを与えないでください。本製品の故障、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 本製品の使用中に可燃物を上に乗せたり、覆ったりしないでください。本製品の故障、発熱、破裂、発火の原因になります。
- 本製品の分解、故障、発熱、破裂、発火、変形等の不具合がある場合には、ご使用をおやめください。

注意

- 本製品の上に乗ったり、落としたり、叩いたり強いショックを与えないでください。
- 車種によっては、設置場所が多少変色したり、日焼けによる跡が残る場合があります。
- 急なハンドル操作や悪路走行などでは倒れる場合があります。
- モニターランプを直視しないでください。目の健康をそこねる場合があります。
- 袋は梱包材ですので、頭に被るなどせず、開封後にすぐに捨ててください。
- 上記の警告・注意に従わない場合など、誤ったご使用・分解・改造をされた際の事故、故障、破損などにつきましては、当社では一切その責任を負いかねます。

【電池について】

警告

- 電池が液漏れしたときは、素手で液に触らないでください。液が身体や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流し皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。
- 電池の液が目に入ったときは、こすらずに多量のきれいな水で洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。
- 火中に入れないでください。ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
- 電池の「+」と「-」の極を正しく入れてください。
- 電池を使い切った場合や、長期間使用しない場合は、本体から取り出してください。
- 新しい電池と古い電池や異なる種類の乾電池と一緒に使用しないでください。
- 液漏れした電池、被覆のはがれた電池は使用しないでください。
- 幼児、子供の手が届く場所に放置しないでください。
- 乾電池は必ず、単三アルカリ乾電池の新品を使用し、充電式電池など、それ以外は使用しないでください。指定の極性(+)以外に接続しないでください。火災や液漏れの原因になります。

注意

- 火のそばや直射日光のあたる場所、炎天下の車内など、高温になる場所で使用、保管放置はしないでください。
- 電池を落下させたり、投げつけたり強い衝撃を与えないでください。
- 電池の被覆をはがしたり、傷つけたりしないでください。
- 電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
- 使用済みの乾電池は、環境保全のため、不燃物としてお住まいの地域・自治体の所定の方法で処分するか、乾電池の回収を行っている販売店にお持ちください。

2 使用上の注意

- 使用済みの乾電池は、必ず本体から取り外してください。
- 長期間、ご使用にならないときは電池を取り外して保管してください。
- 使用環境によっては、赤外線センサーの感度が変化することがあります。
- 赤外線センサーの感度調整はできません。
- 防水仕様ではありません。

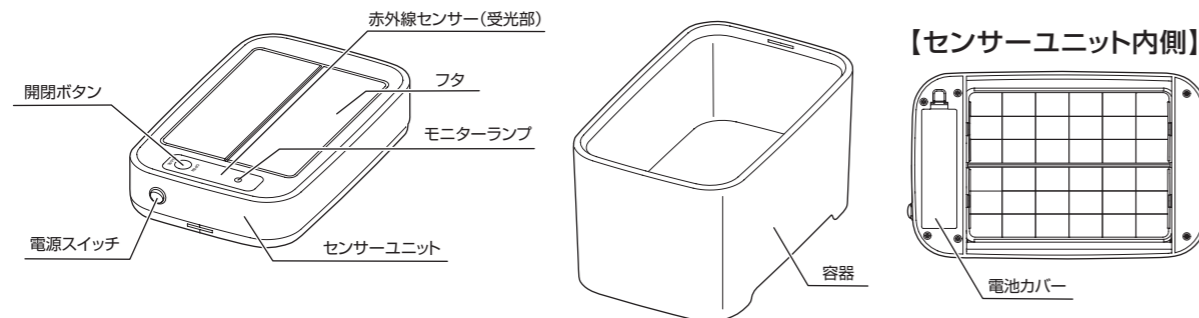
3 仕様

- 電源：単三アルカリ乾電池×4本(別売)
- 電池寿命：約1年(1日10回使用時)※アルカリ乾電池使用時
- ※電池の性能、使用条件により電池寿命は短くなる場合があります。
- 外形寸法：H182×W274×D173mm(最大値)
- 容量：約4.5L

4 赤外線センサーの注意

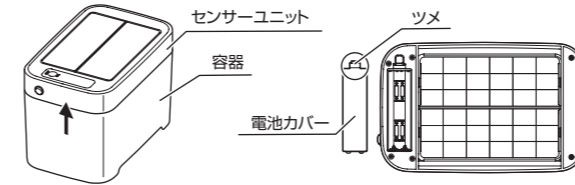
- 赤外線センサーは、使用状況・電池残量によって感知範囲が変わる場合があります。
- 人体以外にも、物体が移動した場合や、その他にも機器からのノイズ・太陽光・静電気・強い光などが受光部に入ると赤外線センサーが誤検知する場合があります。
- つや消しの黒い布(手袋)など極端に反射率がわるい素材には赤外線センサーが正常に反応できない場合があります。
- 赤外線センサー(受光部)にゴミ、ホコリ、水、油などが付くと誤検知の原因になる場合があります。

5 各部の名称

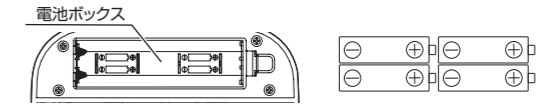


6 乾電池の入れ方

- ① 容器からセンサーユニットを取り外してください。
- ② センサーユニットの内側にある電池カバーを取り外してください。
※電池カバーのツメを上を持ち上げて取り外してください。
- ③ 向きを電池ボックス内部のマークに合わせて、単三アルカリ乾電池4本(別売)を電池ボックスに正しくセットしてください。
※⊕・⊖の極性を正しく確認の上、セットしてください。



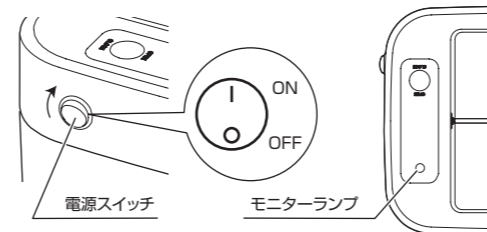
●乾電池交換の際は、全て新しい電池に交換してください。



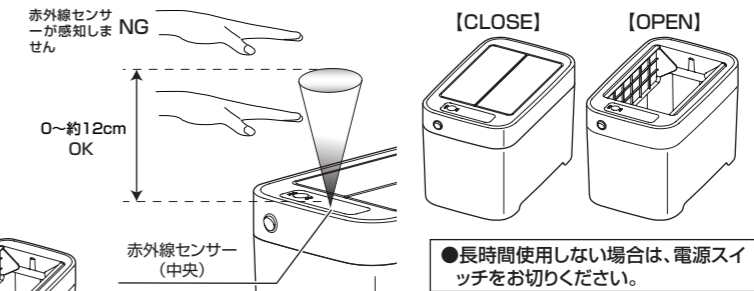
- ④ 電池カバーを元通りに取り付けて、赤外線センサーユニットを容器に取り付けてください。

7 使用方法

- 電源スイッチをONにして電源を入れます。
- もう一度押すまで開いた状態を維持します。
※フタを閉じると待機状態になります。



- 待機中、赤外線センサー(中央)から約12cmの範囲に手や物をかざすと自動的にフタが開き、約5秒後に自動で閉まります。
※赤外線センサーが感知する距離は約12cmですので、その間に障害物を避けてください。赤外線センサーが感知し動作してしまいます。



■手動操作する場合

- 開閉ボタンを押すとフタが開きます。
※もう一度押すまで開いた状態を維持します。
※開閉ボタンで開く操作をしますと、赤外線センサー作動はできません。

- 待機状態が12時間以上継続した場合、スリープモードになり赤外線センサーが反応しません。開閉ボタンを押すと、スリープモードが解除されます。



8 モニターランプについて

<状況表示>

| スイッチON | 待機状態 | 開いた状態 | 電池残量低下(交換お知らせ) |
|------------|------|-------|----------------|
| 約1.5秒点灯→消灯 | 消灯 | 点滅 | 待機状態時→点滅 |

9 お手入れについて

- お手入れの際は、電源スイッチをOFFにし、安全のため乾電池を取り外してください。
- センサーユニット部分の水に濡れないようにご注意ください。

●センサーユニットは乾いた布または水を固く絞った布で拭いてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤等を薄めて固く絞った布で拭いてください。

注意

- アルコール、ベンジン、シンナー洗剤等の溶液で拭いたりしないでください。センサーユニットに直接水をかけたりしますと破損や故障の原因になります。
- センサーユニットの水洗いは絶対にしないでください。故障の原因になります。